



1. すみやかな受診（入院）受入を強化します！

在宅や、介護施設で療養中の患者さんの状態変化時にすみやかな受入が出来るよう、ご連絡いただいた際、直接当番医師に繋ぎ対応させていただきます。

どんなことでもお気軽に
 ご相談下さい。



かかりつけ医師

出雲市民病院
 当番医師

2. 面会状況の確認について

新型コロナウイルス感染症の流行により、当院でも感染予防のため現在、面会制限措置を行っております。

今後の面会につきましては、国内・圏域の感染状況により都度変更が必要となるため、現在の状況を当院ホームページに掲載しております。

インターネットで **出雲市民病院** と検索頂くか、

右のQRコード
 を読み込んで下さい。



尚、ホームページでは、面会以外にも各種感染対策に関連した情報を掲載しております。ご意見・ご質問等ありましたら遠慮無く職員へお尋ね下さい。

お問い合わせ：平日9時～17時
 0853-21-2722（代表）

**感染症拡大防止に
 ご協力ください**



3. 出雲医療生協って？～医療生協だからこそできたこと～

新型コロナウイルスが猛威をふるっており、社会不安や経済的圧迫が多くの方々に困難な状況を及ぼしています。この地域において、つながり、たすけあいを大切にする医療生協だからこそできた事を、研修で来ておられる坂口先生と、下記メンバーでディスカッションしました。

ゲスト：坂口 公太先生（雲南市立病院 地域ケア科）

ファシリテーター：上村医師（家庭医療科）

パネラー

- ・中谷MSW（地域連携センター）
- ・池田師長（包括ケア病棟）
- ・角介護福祉士（包括ケア病棟）
- ・栗原看護師（地域連携センター）



角介護福祉士

金銭的な理由から、退院後は“家に帰るしかない”方も沢山おられます。介護用ベットが必要な患者さんでしたが、当院から退院前訪問を行ったことで自宅はベット置いたら床が抜ける可能性に気がつき、床からの立ち上がり機能訓練を導入したという経験が印象に残っています。



上村医師

自宅環境や家族、金銭的な問題も含めた社会的問題・心理的問題を抱えている患者さんのケアは当院の得意分野だと思います。在宅、開業医の先生方の事例にも何らかのお役に立てればと考えています。



栗原看護師

入院中は医療第一ですが、在宅では「その人の生活」にどう医療が関わっていくかが課題です。医療を強調するのではなく、生活の中で行うことが出来る医療について多職種で時間をかけてじっくり考える。それができるところは当院の強みだと思います。



池田師長

急性期と比べ少しゆっくり時間が流れる病棟なので、患者さん・家族さんと関係ができていくうちに、生き甲斐や最期の迎え方について話を聞き出せることがあります。若いスタッフにも当院ならではのやりがいを伝えていくことが課題だと感じています。



中谷MSW

医療から介護への移行期というのは、さまざまな生活課題が出てきます。当院ではこうした課題に多職種でかかわってきました。この経験を糧に、これからも、ともに生活課題に向き合う姿勢で取り組んでいきたいと思っています。

★坂口先生の感想★

今回の皆様とのディスカッションで皆様が大切にしている理念や価値観に触れる事で出雲市民病院における「共感・信頼の組織文化」の強さを感じました。今回の学びを踏まえ、私自身も自分の利益や都合を優先するのではなく、周囲の仲間や患者に奉仕することを優先し、「この人は信頼できる」と周囲から思われるような存在を目指したいと思います。この度は貴重な学びの機会ありがとうございました。



～坂口先生 ありがとうございました～

出雲市民病院 地域連携センター

◆転院の相談 担当：中谷、大平、榎野（MSW）

◆受診、検査の相談 担当：栗原（看護師）

TEL:0853-21-2722（代表） FAX:0853-21-8123